

## 【子どもたちの様子】

12月は咳や鼻水の症状の子が増え、乳児を中心に発熱でお休みする子がいました。咳がひどい子は気管支炎になったり、長引く鼻水で副鼻腔炎や中耳炎になったりする子がいました。今年は、新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、感染性胃腸炎に対して、いつも以上に注意が必要です。子供もできるだけマスクを着用しましょう。

感染症予防のためには、手洗い、アルコール消毒、早寝早起きで十分な睡眠をとること、栄養バランスのよい食事をとること、元気に体を動かすことが基本です。また、3密を避け、部屋もしっかり換気しましょう。



### インフルエンザと かぜの違い

インフルエンザ		かぜ
インフルエンザウイルス	原因	細菌、ウイルス
冬から春に多い	時期	一年を通して
全身症状	病気の始まり	鼻水、くしゃみ
39～40℃	熱	37～38℃くらい
大流行することも	伝染	多くの人にうつらない
手足や腰に強く出る	関節痛	ほとんどない
肺炎、気管支炎、インフルエンザ脳症 など	合併症	安静を守ればひどくならない



インフルエンザは、発症し5日を過ぎて、かつ、熱が下がってから3日を過ぎるまでは、園はお休みします



### 心配な インフルエンザ脳症

インフルエンザの合併症で特に気をつけたいのがインフルエンザ脳症。特に0、1、2歳児は発症しやすく、後遺症が残ったり、重症化すると命を落としたりすることもあります。万が一のような症状が見られたら、すぐに救急車を呼んでください。

#### こんな症状は脳症かも？

- インフルエンザを発症して1～2日後に突然高熱が出る
- けいれんが10分以上続く
- けいれんを繰り返す
- 呼びかけても反応しない、ぼーっとしている、目がうつろである
- すっと寝続けている

## 【お願い】

- ★流行している感染症情報を掲示板やメールでお知らせしますので、ご確認ください。
- ★お子さんの体調が悪くなった場合、1時間以内にお迎えをお願いします。
- ★高熱（38℃以上）、下痢、嘔吐のあった場合、24時間以上は経過を見ていただき、受診してください。前日39℃以上あった場合は必ずお休みください。
- ★インフルエンザと診断された場合、意見書の提出が必要です。
- ★自宅で頭部などを打った場合は、様子を見て、異常がなければ登園してください。また、登園時に詳しい状況をお知らせください。